

1. 6月全国行事

1) 全国安全週間準備月間	6月1日～6月30日
2) 環境月間	6月1日～6月30日
3) 環境の日	6月5日
4) 危険物安全週間	6月5日～6月11日

2. 安全・衛生・防災の心得 : 安全衛生は服装・保護具から

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社の事故・災害事例から : 荷を持ち上げ捻って腰部捻挫

5. 今月のヒヤリハット

2. 安全・衛生・防災の心得 : 安全衛生は服装・保護具から

私たちが着用している作業衣は、職場の危険あるいは健康影響から身を守るためという役割と見栄えがよく作業がしやすいという両面から選定されています。また、保護衣や保護具は着用者にとって厄介なものかも知れませんが、保護衣や保護具は直接的に危険・有害なものから身を守る砦(とりで)でもあります。また、統一された作業服をきちんと着用することは、事業場や職場の連帯感を生み、正しく安全で健康的な作業のシンボルでもあります。自分もとより、同僚の服装や保護具についても、TBM(ツールボックスミーティング)の機会などで相互点検しましょう。

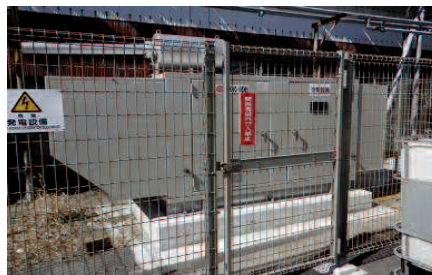
- ①作業服に破れやほころび、ボタンのちぎれはないか。
- ②油や薬品などで汚れてないか。
- ③ポケットには尖った物や、不必要なものは入っていないか。
- ④帽子は正しいものを、正しくかぶっているか。
- ⑤服や帽子の名前、表示等は明りようになっているか。
- ⑥履物は足によくフィットしているか。破れや汚れはないか。スベリやすくないか。
- ⑦保護衣や保護具は、規定のものを正しく使用・着用できるよう、点検しているか・・・など。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

平塚第二工場(熱処理): 発電機を購入し、消火用設備の電源を確保していた。

(停電時 主に消火ポンプ用)



4. 他社の事故・災害事例から：荷を持ち上げ捻って腰部捻挫

＜災害のあらまし＞

始業時刻間もなく、物品倉庫に資材を取りにきた作業員（男性23歳、勤続・経験5年）が、パレットに積んである段ボールの荷を台車に乗せるため、荷を持ち上げて腰を捻った際、腰部を捻挫（ギックリ腰）し、休業10日間の災害となったものです。

＜災害の主な原因＞

- ①ほかの荷の重量は10kg程度だったが、中に交じっていた約15kgの荷を不用意に持ち上げ、体を捻る行動を取ったこと。
- ②始業に遅れて来たため、腰痛防止の体操などを実施しなかったこと。
- ③気が急いでいたため、荷の荷重などを確認しなかったこと、など。

＜同種災害の防止対策 例＞

- ①重さの軽重にかかわらず、荷物を持ち上げるときは、腰を落として背中を伸ばし、ひざを使って持ちあげる等の基本動作を習慣化させる。
- ②封をした荷などは、中身の重さが分かるようおおよその重量を表示しておく。
- ③重さ表示がない物を持ち上げるときは、少し動かして重さを確かめる。
- ④資材を保管する場合は、使用工程等を考えて積んでおき、移動はフォークリフト等を使用するなど、出来る限り人力移動や運搬は避ける。
- ⑤始業時の朝礼や体操には余裕を持って参加するよう習慣化を図る、など。

5. 今月のヒヤリハット：各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「なれた作業も 視点をかえて 見えないムダが 見えてくる」

事例	銅板のバリが指に刺さった。
どこで	工場内。
あらまし	品質検査で、検査品をホルダーと銅板に挟もうとしていた時、銅板にバリがついていて指に刺さり痛かった。
原因	銅板にバリがあることに気付かなかったこと。
教訓・対策	金属板を扱う時はバリに注意すること。軍手を着用すること。

事例	頭上の機械に頭をぶつけた。
どこで	工場内。
あらまし	機械の修理中に立ち上がったら頭上の機械があるのを忘れて頭をぶつけた。
原因	腰を下ろして作業していた際、上部に機械があるのを忘れたこと。
教訓・対策	腰を下ろして作業を行う際は、立ち上がる際、上部に注意すること。

6. その他

＜省エネについて＞

必要な場所では点灯を行い、不必要な場所は消灯を行うなど、無理のない省エネ活動を行って下さい。

「資源は有限！ 工夫は無限！ 取り組む姿勢が未来を作る！」 H28年度環境保全最優秀作品